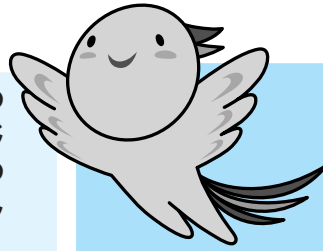


もうすぐ国体!!

“がんばらなくで” 国体



平成18年開催「のじぎく兵庫国体」

市民総参加で盛り上げる、手づくりの大会
みんなでもてなし、
一緒に国体を感じよう

平成17年7月から10月にかけて市内各地で行われた、のじぎく兵庫国体リハーサル大会は、成功のうちに幕を閉じることができました。子どもから高齢者まで多くの市民の皆さんに支えられ、真心こもった『手づくり』の大会として関係者からの評判も上々でした。

今後、リハーサル大会を検証し、開催まで300日を切った2006年の本大会を、より一層すばらしい大会となるよう準備をすすめていきますので、引き続き市民の皆さんのご協力をよろしくお願いします。

豊岡

生涯スポーツに
卓球を!

子どものころ、誰もが「ピンポン」として親しんだ卓球。その魅力は、ラケットとボールがあればできる手軽さ、相手と打合い（ラリー）が続く楽しさ、そして快い汗と健康的というこ



卓球は、天候に左右されず楽しめるスポーツ

とでしょうか。

しかし、トップアスリートともなれば、パワー・テクニク・精神力が勝敗を分ける知的なスポーツです。

昭和63年には、豊岡市で全国高等学校総合体育大会卓球競技が開催されました。冬季や天候に左右されずにできる卓球は、この地に適したスポーツかもしれません。

現在も卓球人口は多く、各種大会のほか近年では、高齢者の「ラージボール卓球」の普及も進んでいます。

卓球を気軽にできる場として、1カ月に1度、市民体育館を開放して行われる「市民ピンポンデー」、各地域で運営されている「スポーツクラブ21」などがあります。

皆さんも、ぜひ生涯スポーツとして卓球を体験してみたいかがでしょうか。

一緒に国体を
盛り上げよう!!

平成18年10月1日に開催するのじぎく兵庫国体卓球競技の部では、全国47都道府県から、選手や監督など約600

人を迎え、ここ豊岡で出会いと交流の輪が広がります。

「ありがとう」の心から「ひょうごから」とよおかから」のスローガンを大切にし、台風23号被害の際、支えていただいた皆さんに感謝の気持ちと、元気を全国に発信します。



リハーサル大会終了後に清掃活動をする市民ボランティアの皆さん

本大会は、リハーサル大会と比べると、参加者が3倍、

会期も5日間と長くなります。5年に一度の大会を観戦し応援くださることはもとより、

家庭や職場・地域で、また、あなたの趣味や特技を活かし、ボランティアの心で国体を支えていただきますようお願いいたします。

ともに手を携え、力を合わせて感動をわかち合いましう。

花いっぱい運動に
参加して

豊岡市福田

古橋 綾子さん



私にとってプランターの花を育てることは初めてだったので不安でした。本大会でも私が大事に育てたプランターの花が、まちの美化に役立ち、来場者の皆さんに気持ちよく過ごせていただけたらと願っています。



リハーサル大会では、市民ボランティアが育てた花がまちを彩った

卓球競技についての問合せ
国体推進課 ☎26・13330

城崎

国体の開催と 将来展望

ボート競技の本大会
は平成18年10月実施

兵庫国体ボート競技では、1,000人を超す選手・監督が参加し、大勢の人々が城崎を訪れます。

国体を、新しい豊岡市の魅力を全国にアピールする機会として捉え、城崎温泉をはじめ、地域の特性を活かした大会運営に向けて取り組んでいます。

ボート競技の振興

現在、円山川城崎漕艇場は国内での公式大会のボート競技が開催可能な1,000メートルのB級コースの認定を受けています。



8人が漕ぐ種目「エイト」はボート競技種目の中で最も速い



会場に隣接した城崎ボートセンター付近

国体開催後は、円山川下流域を水上スポーツ・レクリエーションゾーンとして活性化させるため、国・県の協力を得て、国際大会の開催が可能な2,000メートルのA級コースの認定を目指しています。また、コウノトリの飛来が可能な自然と共生する環境整備も進めます。

さらに、ボート競技人口の拡大を図るために、円山川の特性を活かした長距離レース、国体開催記念大会の実施、企業チームや学生チームの合宿誘致など、ボートを通じた地域間、世代間の交流を推進していきます。

ボート競技についての問合せ

城崎総合支所 国体推進課
☎32・0001

全日本社会人選手権 大会を観戦して

城崎中学校 ボート部
西村充史さん



国体を前に行われた社会人選手権大会に、僕たち城崎中学校ボート部は、ウォーターマンとして参加することができました。

大会を間近で見て、まず感じたことは、選手のパワーです。

今まで見てきた先輩たちの練習や、全国中学大会の決勝の模様も「すごいなあ!」と思っただけ、社会人の選手のパワーと技術を見ると、比べものにならず、あ然としてしまいました。

スタートの迫力は、ウォーターマンをしていた僕にとって言葉も出ないほどの驚きでした。また、初めてエイトのレースを見ることができました。雑誌や写真で見たことは

あったけど、実際のレースを見るのは初めてで、8人の揃った動きと、スピードにとっても興奮しました。

来年10月には、国体が行われます。今からわくわくしています。もし、大会をお手伝いすることができればうれしいです。そこでまた新たな発見や驚きを見つけ、城崎中学校ボート部の練習にも役立たいと思います。

社会人の方々に負けないように、僕たちも、全国中学大会「優勝」に向け、頑張りたいと思います。

国体開催300日前 イベントが行われる

国体開催
まで300
日を切りま
した。

国体開催
の機運を盛
り上げよう



市役所前の残日計

と、12月11日、市民会館文化ホールで300日前イベント「がんばらうで!国体」が行われ、市内から集まった約9

00人の参加者は、国体開催に向け、気持ちを新たにしました。

当日は、全日本女子バレーボールチームの柳本晶一監督による「スポーツを通じた人づくり」と題した記念講演が行われ、参加者は一流スポーツ選手を支える監督の講演に耳を傾けていました。

また、はばタンレディと出石幼稚園の園児の皆さんによる「はばタンダンス」の披露や、市内各地で開催したりハーサル大会の記録ビデオの



スポーツの魅力を熱く語る柳本晶一監督

上映などが行われました。イベントの最後には、地元高校生たちが、大会宣言を行い、参加者全員で国体の成功を誓い合いました。